

一般社団法人

滋賀県介護福祉士会 ひろがり

The Shiga Association of Certified Care Workers

2021. 8

VOL.092

会員数777名 7月末現在

令和3年度総会及び会員研修のご報告



令和3年6月26日(土)13時より、滋賀県立長寿社会福祉センター第1研修室において総会と会員研修が開催されました。提出議案は令和2年度事業報告(案)及び決算報告(案)と監査報告、令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)、令和3年度役員体制(案)でした。審議の結果、全ての議案は承認されました。総会に引き続いて行われた研修会では、2年越しで講演をお願いしていた前原土武氏(災害NGO結代表)による「被災地における要支援者の現状と介護福祉士の役割」をテーマに、実践を通じた貴重な経験談や支援内容等、介護福祉士として災害現場で必要な知識等を学ばせていただきました。

広報委員 村田 才司



会長就任の挨拶

高田 栄亮



このたび、滋賀県介護福祉士会の会長に就任いたしました高田 栄亮（たかだ しげあき）と申します。私は、介護の仕事が大好きです。そして、「介護福祉士」である事に誇りを持っています。しかし、現場の介護福祉士は、介護の仕事に「やりがい」や「誇り」を感じているのでしょうか。

本会では、介護福祉士が働きやすく、魅力のある専門職であることの発信や改善に向けて努力して参りたいと思います。そのために、会員のニーズに合った研修会の実施や認定介護福祉士養成研修の開催に向けた検討をします。また、現在の介護福祉士会は、会員拡大が大きな課題になっています。会の活性化を図るために、各ブロック活動の充実や交流を通して、仲間作りができればと考えています。

「介護福祉士の未来は自分達（介護福祉士）が変える！」そのためにも、みんなで力を合わせて頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

退任の挨拶

□村 淳



この度、1期2年務めた会長を退任することになりました。任期中は、多くの方々にさまざまなご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

会長に就任した際、会員数を増やすことを目標の一つに掲げました。滋賀県には介護福祉士の登録者が約19,000人（そのうち会員は約800人）いますので、勝算はありました。研修を充実させたり、イベントの企画を通し、1年目は微増に転じました。しかし、ご承知の通り、一昨年度末あたりから新型コロナウイルスの影響を受けることとなります。予定していた研修やイベントの中止を余儀なくされ、会員の確保はおろか、そのままいけば経営が赤字に傾く危機に見舞われました。急遽対策を練り、事務局の勤務日数を少なくさせてもらったり、補助金を受けることで、赤字転落は避けることができました。（事務局の方には多大なご負担をおかけしました）ただし、会員数が約30人減少するという結果になりました。全国でも約1,700人減少しているという統計があり、他の都道府県でも同じ状況であることは推察されます。とはいえ、新型コロナを言い訳に

してはならず、私の力不足と反省しております。

会長就任時に、もう一つ自分の中で決めた目標があります。それは事務局の方々とのコミュニケーションです。事務局には、毎日多数の電話やメールが届き、さまざまな判断が求められます。普段、私は特別養護老人ホームに勤務しているため、事務局（長寿社会福祉センター内）に足を運ぶ機会は限られていました。自分にできることとして、せめて毎日（休憩時間等に）電話をすることを心掛けました。こちらの目標については、おおむね達成できたと思っております。

禅の格言に、「いっきすいしやいっき一器水瀉一器」という言葉があります。前任から引き継いだ器の「水」を、次の世代にこぼさずに引き継ぐことの大切さを表した言葉です。会員数だけに着目すれば、少し器の「水」が少なくなっていました。しかし、会の活動は人数の多寡ではありません。会員に自己研鑽の場を提供し、会員相互の交流のために尽力するという村田顧問（前々会長）から引き継いだスピリッツは、高田新会長に引き継ぐことができたと思っております。その点では「一器水瀉一器」を体現できました。

1期という短い期間でしたが、私を成長させてくれた滋賀県介護福祉士会には感謝の気持ちで一杯です。高田新会長の指導の下、当会がますます発展することを、心から祈念しています。これまで本当に、ありがとうございました。

基本研修報告

介護福祉士取得から20年近くが経っての基礎研修でした。介護過程を学んで、今まで根拠のない説明を職員にしたり、他の専門職から言われたことをそのまま考えずに支援をしたりしていました。しかし、この研修を受講し職員に対して、キチンと説明（根拠）ができるようになり、非常に学びの多い研修でした。今回学んだことを現場でもっと生かしていきたいと思います。

受講生 T



今回の研修を受けて感じたことは、「介護過程」という方法があるのに活用せずに、勘や経験だけで実践しているということに気づきました。介護技術の講義では、介護技術は日々進化していると感じました。一緒に学んだ方々は、介護福祉士として資質の向上を目指していることは確かで、自然と気持ち上がる4日間でした。コロナ感染症の中、安心して受講できる環境を整えてくださった事務局の皆さん、介護過程についてご指導いただいた講師の先生方ありがとうございました。

受講生 H

湖北ブロック研修報告

去る7月4日（金）に長浜まちづくりセンターにおきまして「認知症の人の対応の基本」、「認知症ケアのアセスメント～ひもときシートの活用～」をテーマに1日を通じて高田栄亮会長に講師を務めて頂き研修を開催しました。湖北地域の開催にも関わらず約30名の方に参加頂き、講義とワークの構成で進行されました。

研修後アンケート結果でも「満足」と90%以上の方が回答され、自由記載にも「認知症ケアの今までの歴史を否定するのではなく、知ることによってケアの改善が見出される」「思考を転換することの大切さ」「対応を考えるのではなく原因や背景に目を向けること」「今の現場実践を意識してワークできた」等の意見を頂き、有意義な研修となりました。また非会員の方も多数参加され、会員勧誘活動も行いました。今後も様々なニーズに応えた研修を企画していきたいと考えておりますので参加をお待ちしております。

報告者：北村 健宏



障害を理解する講座④

難病 3

【難病による心理・行動の特徴】

難病のある人の心理プロセスはキューブラー・ロスが提唱した、ガン患者の診断から受容までのプロセスと共通することが多くあります。

難病のある人の心理プロセス

否認期・怒り期	自己を否定したり、病気そのものを否認する。感情の動揺により、周囲に怒りをぶついたりするなどの不安定な心理状態に陥ることもある。
取り引き期	長期化する療養に悲観的になり、神仏に頼る、よい行いをするから助けてほしいなどと、神仏にすがらようになる。
抑うつ期	神仏との取り引きにも成功せず回復しないことがわかると、うつ状態に陥る。自分は生きる意味がない、死を願う等の自己否定の言動がみられる。また生きるつらさへの共感を求める時期である。周囲は傾聴に努め、自己感情表現を助ける必要がある。
需要期	疾病の進行に伴い、生命の危機に瀕するようにもなる。死の不安に悩まされ、家族に死別を恐れる。しかし、自己を肯定的にとらえなおし、現実を受け入れようとしはじめる時期でもあり、残される家族への遺言などを考え始める。

【介護経験20年以上の映像クリエイター】

人生にはそれぞれその人の物語がある。

介護職を20年以上経験する中で、多くの人の人生に寄り添ってきた。

その中で自身も友人の死、死はいつも身近にあった。

その人が精一杯生きてきたいのちを、大切な想いを残したい。

そんな気持ちを持ち続けて、映像を撮り続けている。

長年福祉の世界で従事してきたからこそ出せる映像表現がある。

映像制作の仕事がどんなに忙しくても、週に1回でもデイサービスには行くようにしている。

この場所が僕にとってはリセットできる場所で、自分の原点に戻れる気がする。

お年寄りと触れ合っている時間は人生において大切なことを学べる時間。

自分の映像表現の優しさはここからできている。

社会福祉法人 滋賀同仁会

滋賀保護院から現在特別養護老人ホーム千寿の郷デイサービス勤務（現在は週1回程度）

淵之上 健一



滋賀県介護福祉士会 現在開催予定の主な研修

研修名	開催予定日	日数
多職種連携研修	9月16日	全1日
▪ 障がい者支援のための研修	11月25日	全1日
▪ 介護過程の展開力を培う研修会	11月24日	全1日
▪ 介護福祉士受験対策講座(模擬試験)	12月7日	全1日
▪ 技能実習指導員講習	1月6日	全1日
介護福祉士実習指導者講習会	1月～3月(日程未定)	全4日
認知症ケア研修	2月8日	全1日
介護福祉士基本研修 2月3月	2月～3月(日程未定)	全4日

※日程が変更になる場合があります。

※研修開催予定は、ホームページにて随時公開しています。

※ ▪ 印の研修の開催要項及び参加申込書を同封しています。

編集後記

滋賀県介護福祉士会は、令和3年度総会を無事終了し新年度を新体制で始動いたしました。今後も皆様のお役に立てるよう、役員・事務局一同より一層努めてまいります。

本誌では会の活動報告等を通して身近に感じていただける会報づくりを目指しています。ご意見・ご要望がございましたら事務局までお気軽にお寄せ下さい。

今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



一般
社団法人 **滋賀県介護福祉士会**
The Shiga Association of Certified Care Workers

〒525-0072

滋賀県笠山七丁目8番138号

滋賀県立長寿社会福祉センター内

TEL:077-569-5133 / FAX:077-569-5173

E-mail: shigakaigo@shiga-jaccw.jp

URL: http://www.shiga-jaccw.jp/



▲スマートフォンは
こちらから

事務局での電話対応時間帯

☎077-569-5133 (平日のみ)

10:00 ~ 12:00

13:00 ~ 16:00

※大変申し訳ありませんが、平日でも研修の対応などで電話をお受けすることができない場合がございます。

お手数ですが、ご用件は、ファックスまたは電子メールでお寄せください。

表紙

NPO法人「つどい」が管理する「あいのたにロータスステーション」長浜市の西黒田地域で耕作放棄されていた田んぼを使ってハスを育て、商品化につなげるプロジェクトで撮影スポットとして、福祉×農×地域おこしとして注目されている場所です。 撮影 中村 真理